

# 議会だより



定例会・臨時会	ページ	2
新議会構成		6
一般質問(人口減少の中、福祉向上を)		7
定数・報酬等調査研究特別委員会		14
新しい町づくりへ 私の提案		19

雪の中で始まったりんごの剪定作業  
関連記事20p



# 水道事業、一本化に向けて歩みだす 水道管の相互接続は、未定

## 12月定例会

国が進めるDXに伴うタブレットを用いた初の議会となり、11月29日から12月14日までの16日間の日程で開催された。提出された議案は、条例6件、補正予算8件、その他18件。32件すべて原案通り可決した。陳情は、2件採択、1件不採択とした。

### 条例

飯綱町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行期前改正に関する法律の一部を改正する条例  
—可決

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴うもの。定義の新設、条項ずれ及び文言等の一部修正。

飯綱町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例  
—可決

令和6年4月1日の飯綱町水道事業の一本化に伴い、給水区域、給水計画人口、1日最大給水量を定めた条例の内容を変更する必要があるため。

飯綱町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例  
—可決

飯綱町特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例  
—可決

これら2つの条例は、人事院勧告に準じた改正。年間の期末手当の支給月数を0・1月分引き上げる。

飯綱町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例  
—可決

人事院勧告等に準じた改正。民間給与との格差を解消するための月例給の改定。初任給を始め若年層に重点を置いた給料月額引き上げ及び年間の期末手当の支給月数の0・1月分引き上げ(再任用以外)。再任用は、年間の期末手当の支給月数を0・05月分引き上げる。

飯綱町国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
—可決

子育て世代の負担軽減、次世代育成支援等の観点から出産被保険者に係る産前産後期間の国民健康保険税の免除規定が創設された。それに伴う関係法令の整備。(関連の予算補正は3p)

### 補正予算

令和5年度飯綱町一般会計補正予算(第6号)  
—可決

5884万4千円を増額し、94億1817万3千円とするもの。

債務負担行為補正 追加  
・可燃及び資源ごみ収集運搬業務委託3373万円  
地方債補正 限度額変更及び廃止  
・合併特例事業

△420万円  
・過疎対策事業債

△1050万円  
・緊急浚渫推進事業債

△500万円

令和5年度飯綱町訪問看護ステーション特別会計補正予算(第2号)  
—可決

352万2千円を増額し、6127万6千円とするもの。人件費補正によるもの。

令和5年度飯綱町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)  
—可決

630万1千円を増額し、1億8462万5千円とするもの。

歳出  
・保険料納付金 630万1千円

令和5年度飯綱町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)  
—可決

282万円を増額し、14億7138万3千円とするもの。

歳出  
・職員給与関係経費 △130万円  
・介護予防・日常生活支援サービス事業 412万円

定例会

令和5年度飯綱町病院事業会計補正予算(第1号) 可決

資本的収入と支出をそれぞれ1600万円を増額し、資本的収入は2億7804万円、資本的支出は3億9708万9千円とするもの。病棟空調設備の大規模改修のため。

令和5年度飯綱町一般会計補正予算(第7号) 可決

1億5203万7千円を増額し、95億7021万円とするもの。

主な歳出
・非課税世帯等臨時特別給付金事業 6510万円
・予備費 3858万4千円

減債基金積立金 1995万2千円

令和5年度飯綱町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 可決

47万9千円を増額し、13億6103万9千円とするもの。

歳出
・総務費 46万円
・普通交付金返還金 896万円

予備費 △895万円

令和5年度飯綱町病院事業会計補正予算(第2号) 可決

1600万円を増額し、24億3062万2千円とするもの。

収益的収入
・入院収益 △2億5000万円
・他会計負担金 2億6600万円

収益的支出
・光熱費 1600万円

その他
令和4年度飯綱町教育委員会事務の管理及び執行状況の点検及び評価の報告について

飯綱町農業委員会委員の任命について(議案85号から100号まで) 同意

(85号) 土屋明美氏
(86号) 中嶋映男氏

- (87号) 山田豊氏
(88号) 鈴木弘氏
(89号) 松澤薫氏
(90号) 高橋明彦氏
(91号) 清水広光氏
(92号) 増田賢一氏
(93号) 相澤芳昭氏
(94号) 山浦英雄氏
(95号) 小野久則氏
(96号) 町田勝治氏
(97号) 太田真由美氏
(98号) 小林繁美氏
(99号) 藤原奈緒美氏
(100号) 飯島浩文氏

陳情

「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情 採択

9月定例会の常任委員会 で継続審査となり、審査の結果、不採択となったもの
陳情人・長野県保険医協会
会長 宮沢裕夫氏

システム上のトラブルのため、医療事故や経済的負担により受診困難となるだけでなく、寝たきりや認知症等の方々の人権が侵害される恐れがある。いつでもどこでもだれもが安心して受けられる「国民皆保険」

が受けられるよう存続を求めるもの。

賛成討論

伊藤まゆみ
マイナンバーカードの取得は、任意である。健康保険証は、定期的に発行され、手元に届く仕組みが整えられている。弱い立場の人や、マイナンバーカードの取得に慎重な人の生活を守ることが求められる。



問題を抱えたまま進む健康保険証の廃止

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出についての陳情(一部採択) 不採択

本案件は、常任委員会で第1項のみの一部採択となったもの

陳情人・長野地区社会保障推進協議会
会長 菅田敏夫氏

費用負担の増加と人材不足のため、利用困難になっている。社会保障費を増加、介護制度を見直し、介護従事者の処遇改善を求めるもの。

- 1. 社会保障費を増やし、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと
2. 介護保険の利用に新たな困難をもたらす見直しを実施しないこと
3. 介護報酬を引き上げ、利用料負担の軽減などの対策を講じること
4. 全額公費によるすべての介護従事者の給与を全産業平均まで引き上げ、介護従事者を増やすこと

反対討論

伊藤まゆみ
介護保険制度は、3年毎の改正(改悪)で必要なサービスが受けられない実態が広がり、事業所の経営も大変厳しくなっている。今回の陳情は全部採択でなくてはならないと実感している。

中井寿一
基本的に、陳情者本人

定例会・臨時会

の了解なしに一部採択をするのはおかしい。了解がなければ原案どおり採択か不採択にするべき。

清水満

この陳情は、国に対し介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める4点の陳情である。しかし、常任委員会の判断は、意見書の4点のうち1点のみの一部採択である。陳情者は全文採択を希望、よって反対とした。

介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出についての陳情(原案通り)―採択

一部採択が否決になったため、改めて本会議で原案通り採択したもの  
陳情人・先に同じ

政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める陳情

―不採択

陳情人・政党機関紙の庁舎内勧誘行為の自粛を求める  
長野県民の会

会長 黒田晃吉氏

議員の立場を利用して政党機関紙の購読を強要している事例が散見されるため、これの自粛を求めるもの。

反対討論

渡邊千賀雄

議員の政治活動は自由であり、議会では議会基本条例に基づき活動している。政党の機関誌の発行・配布も制限されるものではない。場所等は常識で対応するのは当然だ。「長野県民の会」からの、ハラスメントだと感じる。

中井寿一

議員の立場を利用して政党機関紙を斡旋することとは、飯綱町庁舎管理規則第6条2項で明確に禁止されているので、わざわざ陳情を取り上げることは不要である。

第3回臨時会

10月19日に開催された。補正予算1件、その他1件、すべて原案通り可決された。

補正予算

令和5年度飯綱町一般会計補正予算(第4号)

―可決

849万9千円を増額し、90億932万9千円とするもの。

・災害復旧費

1637万1千円

・予備費

△787万2千円

その他

工事請負契約の締結について

―可決

令和5年度 飯綱町「いづなコネクトEAST」3階フロアの改修工事  
・契約方法 一般競争入札  
・契約金額 9372万円  
相手方 高木建設株式会社  
代表取締役社長 高木正雄

第4回臨時会

11月7日に開催された。補正予算1件、その他2件、すべて原案通り可決された。

補正予算

令和5年度飯綱町一般会計補正予算(第5号)

―可決

3億5千万円を増額し、93億5932万9千円とするもの。ふるさと応援寄付金の増額と病院施設費の補助による。

歳入

・ふるさと応援寄付金 2億円

・財政調整基金繰入金 △1億5千万円

歳出

・ふるさと応援基金・事業費 15万円  
・病院施設費 2億円



▶未だまだ続く受診者減、エネルギー高騰、老朽化の飯綱病院。アクションプラン策定中。



出展:ふるさと納税サイト

▶好評が続く訳ありりんご

人事案件 2件 ―同意

監査委員の選任

渡邊千賀雄氏

教育委員会委員の任命

宮島千幸氏

反対討論

小林文廣  
住民が町行政の財務会計上の行為に違法又は不当な行為があると認めるとき、監査委員に対して監査を求め必要な措置を講ずるよう請求できる。意見を有する者のうちから選任するべき。



## 議長就任あいさつ 青山弘

二元代表制の一翼として監視機能を十分に発揮し、町民と共に歩む議会となるよう、引き続き議会改革に取り組みます。

歴代議長をはじめ先輩議員が作り上げてきた飯綱町議会の伝統を守りながら、考え方を変えていくべきところは変えていきたいと思っています。

今年の8月に議員定数・報酬等調査研究特別委員会でアンケート調査を実施しました。そこから読み取れるのは、議会の活動が住民に見えていないことです。「議場外」の活動の重要性を強く感じています。新型コロナウイルスの影響を受け、ここ数年「町民と議会の懇談会」を開催していません。町民との対話で議会活動を「見える化」したいと思います。

最後に、峯村町長はじめ町部局と力を合わせ、住民福祉の向上のために努力してまいります。



議長  
青山弘



副議長  
原田幸長



議会運営委員長  
大川憲明



予算決算常任委員長  
石川信雄



総務産業常任委員長  
中島和子



福祉文教常任委員長  
瀧野良枝

### 飯綱町議会委員会等構成

議 長	青山 弘	副 議 長	原田 幸長
-----	------	-------	-------

委員会名等	定数	上段:委員長 下段:副委員長	委 員			
総務産業常任委員会	7名	中島 和子 中井 寿一	小林 文廣 清水 満	渡邊 千賀雄 大川 憲明	風間 行男	
福祉文教常任委員会	7名	瀧野 良枝 樋口 功	三ツ井 忠義 伊藤 まゆみ	目須田 修 原田 幸長	石川 信雄	
予算決算常任委員会	14名	石川 信雄 中井 寿一	三ツ井 忠義 中島 和子 清水 満	小林 文廣 樋口 功 大川 憲明	瀧野 良枝 風間 行男 伊藤 まゆみ	渡邊 千賀雄 目須田 修 原田 幸長
議会運営委員会	6名	大川 憲明 樋口 功	中井 寿一	瀧野 良枝	中島 和子	石川 信雄
議会報編集調査特別委員会	6名	石川 信雄 中井 寿一	三ツ井 忠義	小林 文廣	渡邊 千賀雄	伊藤 まゆみ
議員定数・報酬等調査研究特別委員会	14名	原田 幸長 瀧野 良枝	三ツ井 忠義 中島 和子 石川 信雄	中井 寿一 樋口 功 清水 満	小林 文廣 風間 行男 大川 憲明	渡邊 千賀雄 目須田 修 伊藤 まゆみ

職 名	定数	委 員				
監査委員	1名	渡邊 千賀雄				
消防委員会委員	1名	風間 行男				
北部衛生施設組合議会議員	5名	青山 弘	原田 幸長	中島 和子	瀧野 良枝	樋口 功
北信保健衛生施設組合議会議員	2名	青山 弘	瀧野 良枝			
長野広域連合議会議員	2名	青山 弘	瀧野 良枝			
森林・林業活性化促進議員連盟	15名	全議員				

### 議員のうちから町長が選任または委嘱する職であり議会において推薦された委員

職 名	定数	委 員	
飯綱町表彰委員会	1名	青山 弘	
飯綱町人権擁護審議会	1名	伊藤 まゆみ	
飯綱町環境審議会	2名	風間 行男	目須田 修
飯綱町健康づくり推進協議会	1名	目須田 修	
飯綱町民生委員推薦会	1名	瀧野 良枝	
飯綱町社会福祉協議会理事	1名	瀧野 良枝	
飯綱町農業振興協議会	2名	渡邊 千賀雄	清水 満
飯綱町総合農政対策協議会	2名	青山 弘	中島 和子
飯綱町地域農業再生協議会	2名	青山 弘	中島 和子

職 名	定数	委 員	
飯綱町観光開発審議会	2名	中島 和子	中井 寿一
飯綱東高原観光施設等管理運営協議会	3名	原田 幸長	中島 和子
飯綱町都市計画審議会	4名	青山 弘 中島 和子	原田 幸長 瀧野 良枝
飯綱町地籍調査推進委員	3名	中島 和子 清水 満	中井 寿一
飯綱町青少年育成町民会議	2名	青山 弘	瀧野 良枝
飯綱病院事業検討委員会	2名	青山 弘	瀧野 良枝

# 一般質問 人口減少の中、公共の福祉向上を

なか い ひさかず  
**中井 寿一** 8ページ

社会増をどう進めるか

いしかわ のぶ お  
**石川 信雄** 11ページ

- 1 人口減少下の区・組の在り方は
- 2 公共交通の見直しを

わたなべ ち か お  
**渡邊 千賀雄** 9ページ

- 1 リンゴ農家支援策、半コンテナ導入を
- 2 斑尾山地籍の行政界(町村界)の確定は
- 3 地域医療を守り、利用しやすい飯綱病院を

いとう  
**伊藤 まゆみ** 12ページ

- 1 来年度予算の編成方針は
- 2 選挙の投票率の引上げへ
- 3 生理の貧困の解消を

ひぐち いさお  
**樋口 功** 10ページ

いわゆる「2025年問題」 町の課題は

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



一般質問

9月定例会に引き続き12月1日開催の一般質問を傍聴。青山新議長の下、各議員にタブレット端末が配布されDX新時代にふさわしい会議の始まりとなった。

議員の一般質問は1時間が割り当てられていると思うが、9月と合わせて延べ11人の内、何人かの議員は30分程度で終わってしまい、議論が深まらず、町側にとっても緊張感が出ないように感じる。

議員活動は、一般質問以外にも、委員会活動や町民からの意見聴取・日頃の調査研究等の活動があるとしても物足りない感がぬぐえない。

今回、興味を引いたのは、いわゆる「20

## 傍聴席



清水 憲和さん  
(栄町)

### もう一つの「2025年問題」

「25年問題」に対する問題提起である。団塊世代全員が後期高齢者となり、医療介護費用の増大、労働力不足の顕著化、とりわけ町の基幹産業である農業の担い手不足等の影響が大このことに対策が急がれる。

ところで、飯綱町にとっては、もう一つの「2025年問題」があるように思う。それは、合併後ちょうど20年目で町長・町議会議員選挙の年に当たる。町議会議員として、ある程度の資質は必要であろう。前回は無投票。さて次回は如何に？

人口1万人の町で人材発掘は急務。町民全員の課題ではないか？と感じた次第。

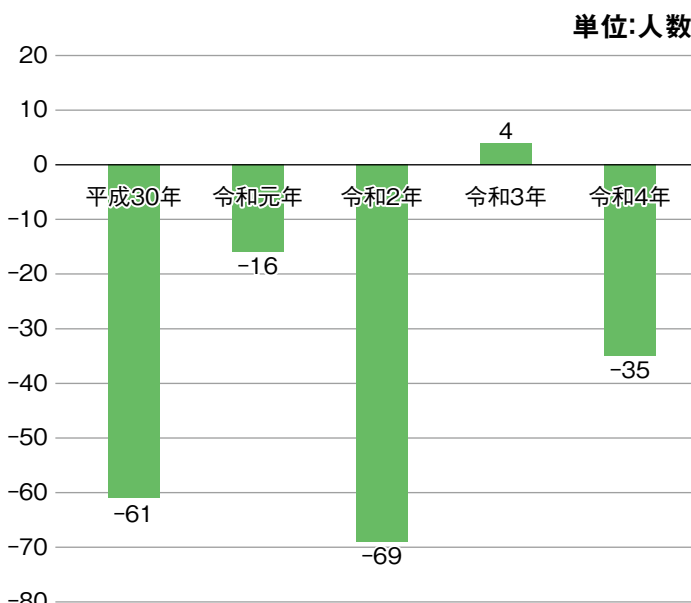
# 社会増をどう進めるか

## 賃貸物件の建築促進

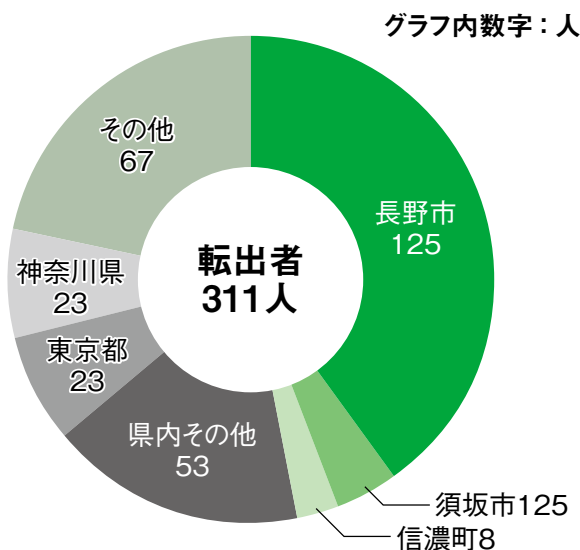
### 町長 民間への支援を進める



中井 寿一議員



▲住み続けたい町第2位も、続く社会減(過去5年間)



▲転出先の内訳(過去1年間)

**町長** 長野市との間には、それでもウィークデーには10往復のバスがある。タクシーも含めてさらなる利便性の向上に努めた予算案を作成中だ。

**地政学上の課題は**  
**中井** 交通の便と自然環境については、長野市や信濃町に勝てない。耕作放棄地の転用や交通対策が必要ではない。

**調査会社とのギャップは**  
**中井** 民間調査会社の結果は、住み続けたい町第2位だったが、実際には令和3年を除いて社会減が続いている。どう考えるか。  
**町長** 住み続けたい人以上に、進学・就職・結婚等による転出が多いのでは。

**果、どういう対策をとるか。企画課長** 年代別のデータはある。子育て世代が多い。  
**町長** 今後も子育て支援を更に充実させる。  
**中井** 転入元は県内が3分の2、転出先は圧倒的に長野市への転出が多い。原因を調査したか。  
**町長** アンケート調査は難しいが、人口増対策に必要だと考えている。若い世代への支援、家賃補助等も考えている。

**空き家・賃貸の確保は**  
**中井** 空き家や公営賃貸物件は成約率、入居率が高い。さらなる賃貸物件は。  
**町長** 物件がないことは課題と認識している。教員住宅の活用も考えている。  
**企画課長** 公営は3年間で8戸の計画がある。民間への補助金は昨年は2件。  
**中井** もっと建築スピードを上げられないか。  
**町長** 補助金を出すので民間賃貸業者に頑張ってもらいたい。

**知名度向上対策は**  
**中井** 「住みたい町」が重要と考えるが、文化・芸術・教育の面で飯綱町の知名度を上げることも重要ではないか。  
**町長** 人口増対策というだけでなく、知名度向上は重要だと考えている。町の優れた子育て支援対策をPRしていきたい。



## リンゴ農家支援策

# 半コンテナ (12kg) の導入を 町長 農作業の軽減に充分検討する



渡邊 千賀雄議員

**リンゴ農家へ半コンテナ(12kg)の導入を**

**渡邊** 重労働からの軽減と基幹産業であるリンゴの生産であり、ふるさと納税の返礼品という重要で拡充が求められている分野への投資にもなる。日本一のリンゴのまちを目指している。持続可能なリンゴの収穫作業を支えるため、リンゴのコンテナ(箱)現在の18kg入れから、半コンテナ(12kg)への導入を推進しては、**産業観光課長** 農業従事者の大半が高齢者であり、かつ女性従事者のことも考えると、出荷作業の負担の軽減に繋がるため、重要な施策の一つと考える。十分検討していく。  
**町長** 農家へ補助をするか、JA部会の負担を少なくする方法がいいのか検討する。  
**渡邊** 今のコンテナとの引き換えに、支援策も含めながら導入を進めて欲しい。

**斑尾山地籍の行政界・町村界は確定しているか**

**建設水道課長** 国土地理院の地図上で確定しているが国土調査では確定していない。

今後現地での立会い、また衛星を使った測量等で確定する必要がある。

**渡邊** 確定していないところは、他にもあるか。

**建設水道課長** 国土調査は、人がいるところを中心に行っており、進んでいないところは多く残っている。



▲軽い半コンテナで負担軽減を

▶病院内に設置されている「御意見箱」

**地域医療を守り利用しやすい飯綱病院を**

**渡邊** 現在、病院には医療相談室と御意見箱が設置されているが、機能を果たしているか。

**病院事務長** 医療相談室では、入退院の相談窓口、社会復帰、地域の医療保健福祉施設との連携調整等。

意見箱は外来、2階、3階、4階病棟の4ヶ所に設置しており、毎月末に回収。

寄せられる意見に対し、該当部署でその対応を行っている。

毎月開催される管理者会



▲気軽に相談できる「医療相談室」

議運営委員会に報告し、各部署が共有できるようにしている。

**渡邊** 医療相談室は、常に開室が大事。相談に応じ、病院にかかりやすいように、病院機能の拡充等は。

**病院事務長** 関係機関と円滑に業務が行える人材育成に努め、公立病院経営強化プランを現在策定中。

医師の有給休暇等、労働環境の整備に努める。看護師は、欠員補充が十分とは言えず、今の看護師を大事にして経営強化プランを示していく。



樋口 功議員

# いわゆる「2025年問題」 町の課題は 町の課 国の交付金等の大幅見直しを懸念

## 一般質問

### 2025年の 高齢者人口構造は

**樋口** 2年後に団塊の世代の方全員が75歳以上（後期高齢者）になるが、町の人口構造は。

**企画課長** 現在、町の人口は1万370人で、うち75歳以上の人口が2305人。その割合は22.2%だが、2年後には2753人となり、町人口の26.5%と推計。

### 団塊の世代とは

昭和22年から昭和24年の3年間に生まれた世代の方。全国で約800万人いらっしゃる。

### 2025年問題 町の課題は

**樋口** 全国的には左図のとおり課題が挙げられているが、当町での課題と対策は。  
**町長** 当町でも同様の課題がある。国の交付金等が大きく見直されるのでは、と懸念。

### 病院経営、医療保険 給付等の対策は

**樋口** 町立飯綱病院における会計の見込みと対策は。  
**病院事務長** 後期高齢者は増加するが人口減で、医療の必要度は微増の見込み。

### 2025年問題とは（全国）

団塊の世代の方全員が75歳以上の「後期高齢者」になり、少子化と相まって様々な課題が発生すると懸念。

#### ○医療保険給付問題

医療保険給付が総額54兆円（10年前は40兆円）に増加

#### ○介護問題

要介護・要支援認定者数が増加し、介護人材不足や介護費用が増加

#### ○社会保障費の増大

年金、医療、介護など社会保障費が総額140兆円と増加

#### ○空き家・マンション問題

高齢者の持ち家割合が高いため、将来、空き家等が増加

#### ○労働力不足

若い世代の人口、出生率の減少があらゆる産業で労働力不足をもたらす

作成中の「経営強化プラン」で収入増加を目指す。

**樋口** 介護保険事業の見込みと対策は。

**保健福祉課長** 85歳頃に高齢者の介護認定が増す傾向にある。そのため2035年以降を念頭に介護計画を作成中。次期第9期介護保険事業計画では保険料算定で基準保険料が約200円増加の見込み。基金の繰り入れを1億2千万円と見込む。

また、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように、地域内で助け合う、地域包括システムの構築をさらに進めていく。

**樋口** 後期高齢医療特別会計の見込みと対策は。

**住民環境課長** 保険料は高齢化等による医療費増加を反映し、2年に一度引き上げを実施。当面、現役世代の負担上昇抑制のため、高齢者負担率の設定方法を見直す。令和7年度保険料は4年度に比して

4900万円増の1億6600万円と見込む。歳出の広域納付金は同年に2億1900万円と予想され、6400万円程度増と見込む。歳入歳出いずれの見込みも被保険者数の増加及びそれに伴う総医療費の増大によるもの。

被保険者の健康の改善、生活の質が向上する取組として、特定健診受診を呼び掛け、また、必要な治療による重症化の予防にも取り組む。

### 労働力不足対策は

**樋口** 町立病院や町の重要な業務の受託事業者での人材不足対策に町が積極的に支援をすべきでは。

**病院事務長** 町長が県に医師確保等の要請を行った結果、医師の紹介をいただき、面接に至った。県機関との連携を強化したい。

**樋口** 飯綱町社会福祉協議会での人材不足対策として、上部団体の県社会福祉協議会での採用による地方社協への出向方法などを提案してはどうか。

町長 検討したい。

# 人口減少下の区・組の在り方は

## 町長 区長・組長会で話をしていく



石川 信雄議員

### 自治基本条例の制定を

**石川** 飯綱町集落振興支援基本条例もあるが、飯綱町自治基本条例の制定が先だったのではないか。この自治基本条例についてはどのような考えをお持ちか。

**町長** 自治は行政、人それぞれ、地域なり、各々の役割分担を明確にし、それぞれの活動を促していくというふうなものを基本にしていると思う。取り組んでいかなければ困るといふほどの緊急性は感じていない。

しかし、住民から制定が強く望まれるということが窺えるような状況になったときには、対応を考えていきたい。

**石川** 早急に作っては。

**町長** 分かち合いの経済学を提唱している神野直彦さんの持論は、「地方自治はいわゆる格差と貧困の解消だ。これを基本に考えていく行政がなければ、私は駄目だと思う」。それを、私も常に大きな目標としている。

**石川** 過去に住民自治協議

### 一般質問

### 政策3 誰もがあらゆる分野でいきいきと活躍できる環境づくり

課題と方針	地域内外の交流や世代間の交流を深め、みんなで地域の未来を語り合える機会を確保し、地域づくりの実践的な取組を推進します。 <重点課題> ・町や地域の課題の認識・課題解決の取組強化 ・地域内外、世代を超えた交流機会の確保 ・地域の将来プランや取組への住民の主体的な参加促進
行動目標	地域の行事や集まりに積極的に参加しよう！

第2次飯綱町総合計画(後期基本計画) 分野6 移住・交流

**町長** 三水の4区は一つの  
会なども考えていると答弁  
があったが、その後の経過  
は。

良い例として、皆さんにお話しするなり、区長の代表者会議で話をしている。また区の役員の手がいないということについては、もっと具体的に、先般、話したとおり、印刷物や通知文、下書き等は、代わりに職員なり、地域おこし協力隊の力を借りて、なるべく区の役員さんの負担を少しく軽くしていくというようなことは積極的にやっていき

### 交通手段の拡充を

**石川** 鉄道に限らず、バス、タクシーもろもろ含めて、今後どういふふうに見直しされていくのか。

**企画課長** バスは、現状のセミデマンド方式からフルデマンド方式へ。ナイトワゴンはフルデマンドに対応していきたい。

19時以降の夜間交通体制や休日交通対策助成は公共交通による対応ではなく、町長が言うように、タクシ―事業者への支援を実施することで、タクシ―運行を確保したいと考えている。

### 政策4 拠点をつなぐ交通ネットワークの充実

課題と方針	多様な公共交通機関の有機的な連携を図り、町民の日常生活を支える、効率的で持続可能な交通体系を構築します。 <重点課題> ・買い物など町内の移動のしやすさの向上 ・バス路線維持のための事業費増大への対応（利用者の確保） ・高齢化の進展に伴う交通弱者の増加への対応
行動目標	積極的に公共交通を利用し、生活の足をみんなで守ろう！

第2次飯綱町総合計画(後期基本計画) 分野5 安心・健康・福祉

議会要望のコミュニティタクシ―も、目下、国の方向性や先進自治体の研究及び検討中である。

# 来年度予算 編成方針は

ソフト面の充実で

町長

## 格差のない町を形成したい



伊藤 まゆみ議員



▲来期の介護計画策定に向け議論

一般質問

**伊藤** 来年予算の編成時期となったが、方針は。町長 ハードから福祉、医療、教育などソフト面を重視し、充実していきたい。基本的には、格差のない地域を形成していきたい。  
**伊藤** 物価高対策は。  
**町長** 国の動向を注視し、弱者といわれる皆さんに、町独自でも考えたら良いか見極めたい。

**伊藤** 介護保険の徴収を多段階へと訴えてきたが、検討結果は。  
**保健福祉課長** 国の設定に基づき、13段階としたい。  
**伊藤** 町としても介護予防に力を入れており、住民もしっかり理解して積極的に取り組んでいる。支えるスタッフの養成が望まれるが、保健福祉課長 効果の

介護保険料  
徴収を13段階へ

**伊藤** 飯綱町の保険料は、上がるのか。  
**住民環境課長** 標準保険料から若干低めだが、実際はこれからの議論になる。

**国保税県統一はいつか**  
**伊藤** 国保税は、自治体で高い低いの差が大変大きい。県統一への見通しは。  
**住民環境課長** 令和9年度までを目指している。  
収納率向上対策についての意見交換会、検討がされている。

**伊藤** 投票に関するアンケートを実施したが、その意図は。  
**総務課長** 共通投票所の設置と当日投票所の閉鎖時刻の繰り上げを中心に実施した。  
**伊藤** 期日前投票所を増やせないか。  
**総務課長** システム構築の費用面や人員の確保が課題。

投票率の向上を

**伊藤** 病院の経営安定には、医師、看護師などのスタッフの確保が欠かせない。その上で、自費診療の拡大も考えるべきだ。休診日の土曜日の検診はできないか。  
**事務長** 検診は、病院としても強化していきたい。土曜日の検診は検討したい。

飯綱病院の  
経営安定へ

検証もしており、スタッフの養成を頑張っていきたい。



▲各投票所から投票箱の到着を待つ開票所

**伊藤** 全国的に強められている施策であり、自治体として取り組むべきと考える。  
**教育長** 飯綱中学校の養護教諭からは、貧困により生理用品を購入できない家庭はないと聞いている。  
長水の養護教諭部会で、必要かどうか検討していくと聞いている。

生理の貧困の解消を

期日前投票は、35%を超えており、複数設置については検討したい。

# あの時の あの質問 どうなった??

～定例会一般質問答弁の進捗から～

【令和4年12月】

**Q** 新型コロナウイルス感染症の流行と物価高の下で、子育て世代の経済状況はとても大変になっている。全国的にも取り組まれている。学校給食費の無償化を。

**A** 教育長 保護者からの声が大きくなれば、考えたい。



▲楽しい給食の時間

【令和5年6月】

**Q** 新型コロナウイルス感染症の流行と物価高の下で、子育て世代の経済状況はとても大変になっている。全国的にも取り組まれている。設置者として学校給食費の無償化の考えは。

**A** 町長 国がしっかりやらなくてはいけない施策だが、予算編成時に検討したい。



**今後の対応** 12月議会の一般会計補正予算に、R6年1～3月までの食材費の50%分が予算化された。

【令和5年3月】

**Q** 農業従事者の高齢化、後継者不足への対応は。

**A** 担い手を確保していくための様々な事業を検討し対応したい。



**今後の対応** 町の農業の様々な課題について解決を図っていききたい。農林水産省との人事交流を実施していく。

【令和5年6月】

**Q** これからの地域活性化と発展についての考えは。

**A** 集落創生の指導員などを設置し、集落の事務的な面の補完や集落として事業に取り組む時の助言者などを配置して、集落の維持を図っていききたい。



**今後の対応** 区長組長会で支援の必要な集落から希望を募り、当面は、地域おこし協力隊員による支援を実施していく。



▲年々増える集落創生事業参加者(普光寺)

# 定数・報酬等調査研究特別委員会

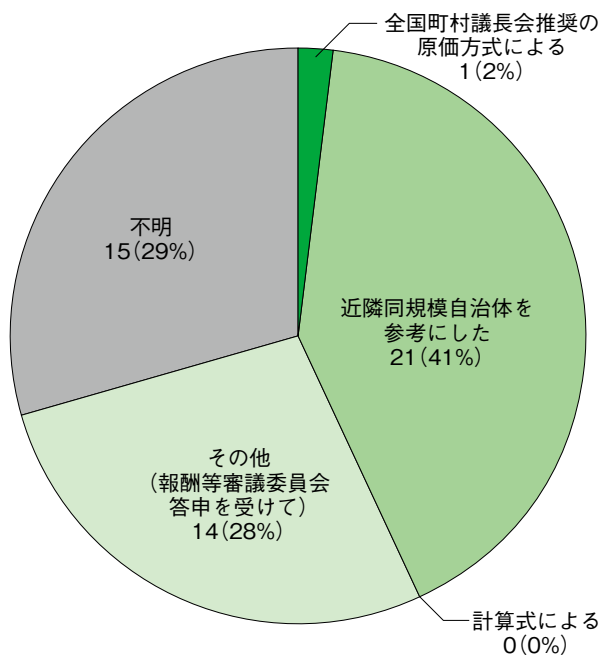
飯綱町議会では、令和5年3月より、特別委員会を立ち上げ、これまでに7回の会議を開催し、定数、報酬問題について研究を進めてまいりました。

第5回の会議では、全国同規模自治体69か所へ議員定数・報酬のアンケート実施結果の報告がありました。また、住民アンケートについてもまとまりましたので報告させていただきます。

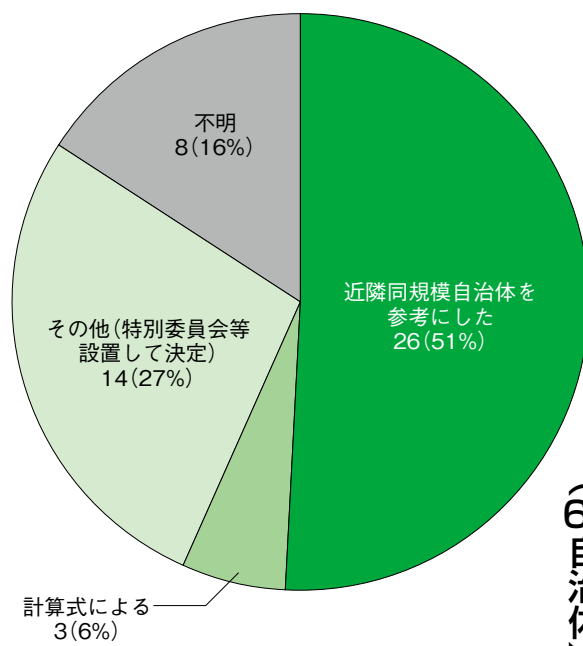
## 【今後のスケジュール】



議員報酬



議員定数

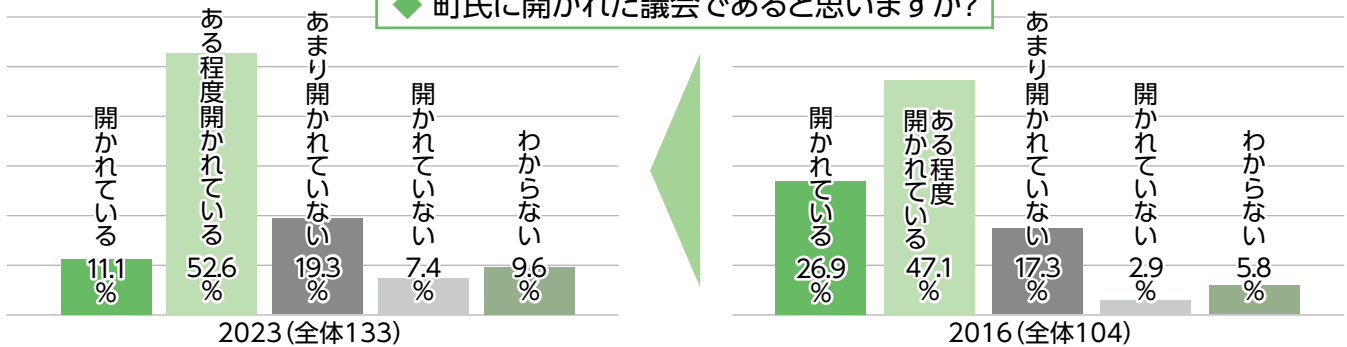


【全国同規模自治体アンケート結果】  
(69自治体)

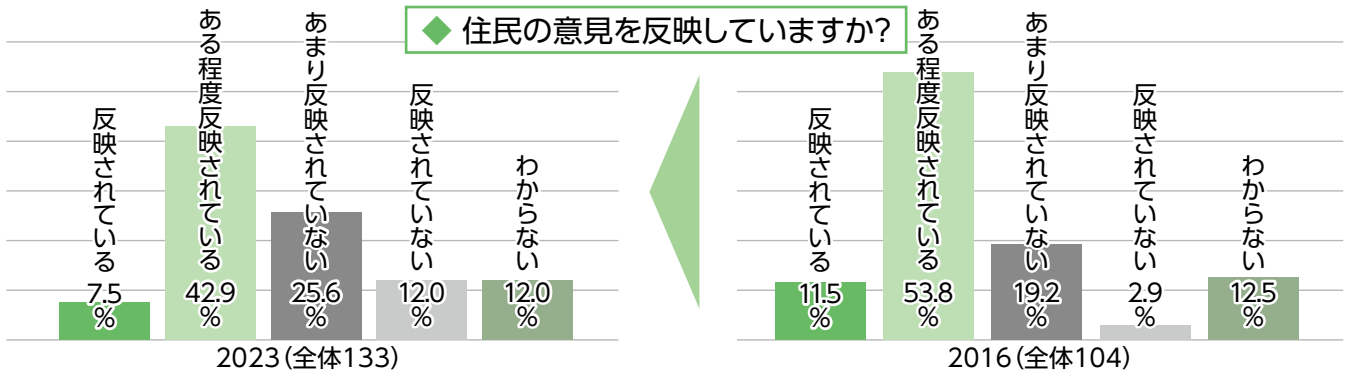
## 住民アンケート結果の主なものは以下のとおりです(回答数136名・2023. 8実施)

平成28(2016)年に実施された住民アンケートとの比較をしています。

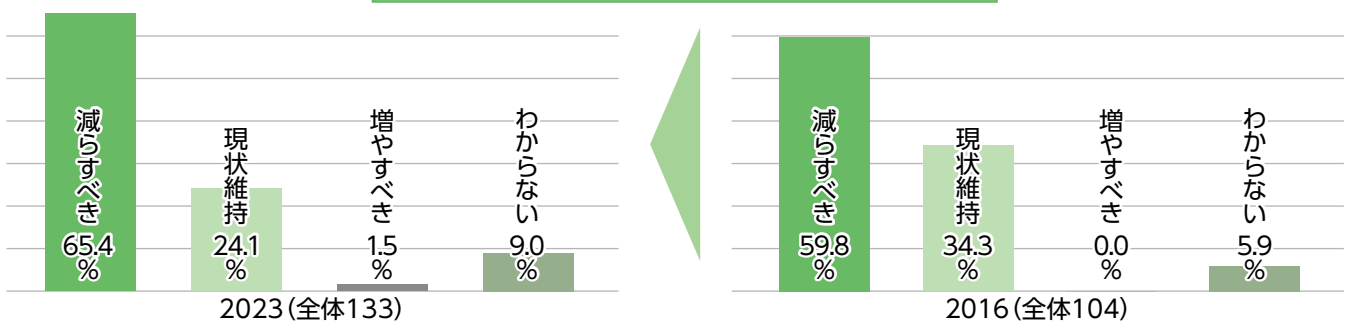
### ◆ 町民に開かれた議会であると思いますか?



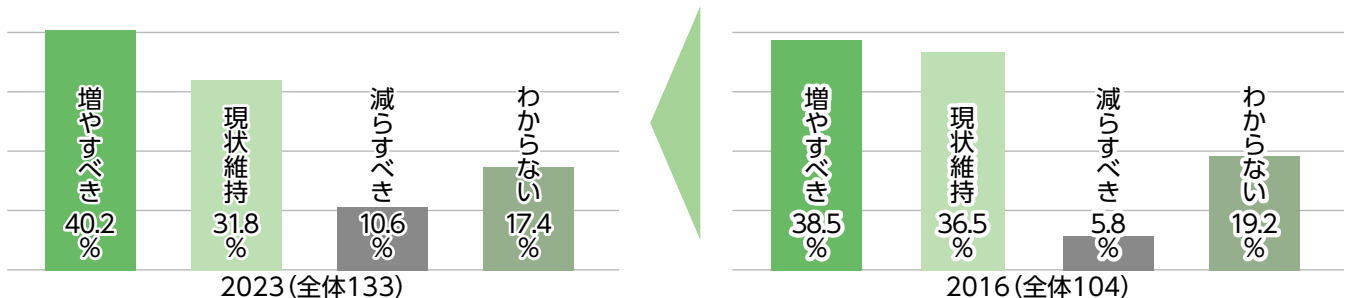
### ◆ 住民の意見を反映していますか?



### ◆ 15人の議員定数をどのように考えますか?



### ◆ 月額17万4000円の議員報酬をどのように考えますか?



定数 特別委員会

定数と報酬の回答パターンの主なものは、  
 ◎定数は減、報酬は増(28.7%)  
 ◎定数は減、報酬は現状維持(17.6%)  
 ◎定数は現状維持、報酬も現状維持(11.8%)  
 ◎定数は減、報酬も減(9.6%)  
 となっています。

議会や議員活動について、  
 様々なご意見、批判、要望、  
 提案等をお寄せ頂きました。  
 議論の参考にさせて頂き、  
 今後の議会活動にも  
 生かしてまいります。

# モニターアンケートにお答えします

## 議会だより第72号 (9月定例会)

**Q** 各議員さんがこの1年間で、どのような活動をされていたのか載せていただきたいです。各議員の具体的な活動の実績 (次回以降の選挙の投票行動の参考にしたため) 今後も議員さんの活動や意見を参考にしていきたいと思えます。全議員さんの活動報告を詳細に載せて欲しいです。

**A** 議会だよりは、議会活動全体のことを報告しています。個々の具体的な議員活動・報告は、各議員が行うべきものと考えます。なお、年間の各議員が行った議員活動等については、『議会白書』をご覧ください。個々の議員活動については、主に一般質問が注目されます。一般質問は、政策に取り組み、政策に生きるべき議員にとって、最も華やかで意義のある発言の場であり、住民からも重大な関心と期待を持たれる、大事な議員活度の場である。(議員必携)と定義されています。

**Q** 毎回感じていることですが、一般質問の議員は町内をくまなく歩き、また、良く勉強をしていると思っております。これからも大所高所から判断し町政運営に専念していただきたいです。

**A** 一般質問を行うには、それなりの準備と調査等が必要です。また問題点や課題を町民に代わって質問・発言をするわけですから、皆さんからの意見や提案がどうしても必要です。これからも意見や、こうして欲しい、どうなっているのか、現地を見て欲しい、などお寄せください。

**Q** 飯綱町議会として議員研修会など積極的に参加している様子。他町村を参考にしよりよい飯綱町になるように議員の皆様を期待していきたい。

**A** これからも、研修会や視察は必要で大事だと考えています。今、直接現地や会場に参加しなくてもパソコンやタブレット等でも、視聴参加ができます。大いに利用したり、参考にしていきます。他町村の議会からの研修受け入れも行いながら、参考にもしています。



▲視察研修に、川上村で(議会運営委員会)



Q

モニターからの意見も一つ一つ採り上げられており問題解決に検討されていると感じました。町と町民を繋ぐのが議会、町民と議会を繋ぐのが議会モニターなのかなと感じております。モニターアンケートにおこたえしますのコーナーはとても良いと思います。もっとQ&Aをお聞きしたいです。

A

モニターの皆さんの声を全部載せられないのが残念です。編集委員会でもなるべく多くを掲載し、充実させていきたいと思っています。これからも意見・感想をお寄せください。

Q

「長野県版街の幸福度ランキング」第3位、「住みたい街」第2位…ニュースで耳にしましたが、具体的な事例と町としての取組等の情報記載を望みます。

A

「日本一女性が住みたくなる町」「住んでいてよかったと実感のできる町づくり」を目指しています。具体的な事例としては、①子育てがしやすい②18歳までの医療費が無料（手数料除く）③子育て支援施策の設置（通称みつどんのお家）など④地域の農産物が豊富⑤静かで治安がいい⑥市内に近⑦買い物に不便がない⑧自然が豊かなど。



▲みつどんのお家(町民会館の隣)



▲施設内では、子どもと一緒に楽しめます!

Q

「ふるさと振興公社」は残念だが赤字が続く体質である。町長、現場スタッフとしっかり話し合っていたきたい。経費を見直しても赤字が続くのであれば、この事業の運営を考えなければと思う。

A

農家の高齢化や担い手不足等が進む中で公社は、農家から受託した農地の管理や農産物の加工・販売、飲食店など農業振興に重要な役割を担っていますが、経営状況は厳しい状況にあります。公社の安定運営に向けて、業務内容のチェックや経営改善に積極的に取り組んでいきます。

#### 訂正

第72号7ページ下から2段目右側の回答に誤解を招く表現がありましたので訂正します。回答は教育委員会より。  
「先天的な発達障がいのある人は一定数いるが、後天的な様々な要因による人も増えていると言われている。」

#### 訂正

第72号10ページ下から2段目の5契約の相手方を訂正します。  
「株式会社 北部建設  
代表取締役社長 松橋 洋一」





# 道路沿いに目立つ ストックヤードの行方は

廃棄物の適正処理、生活環境の保全、公衆衛生の向上

上水内北部議会協議会研修会 令和5年11月14日 会場 信濃町一茶記念館

講義題

## 「ごみ減量化・リサイクル、 廃棄物処理」

・廃棄物とは、ごみ、粗大ごみ、燃え殻、汚泥、ふん尿、廃油、廃酸、廃アルカリ、動物の死体その他の汚物又は不要物であつて、固形状のものをいう。

・エシカル(倫理的)消費。

物やサービスを選ぶときに、自分の消費によって誰かが傷ついているか、環境を破壊していないか、世の中に与える影響を考え、よりよい消費行動を行うこと。

・使い捨ての物でなく、長く使える物を選ぶ、・リユース(再使用)製品、リサイクル製品を選ぶ、・省エネ製品を選ぶ、・地産地消の商品を選ぶ、・地元商店街で買い物をする、・障がい者就労支援施設などの製品を選ぶ、・フェアトレード(公平・公正な貿易)製品、

・寄附付きの商品を選ぶ。

・廃棄物と有価物か、鉄くずは資源として認識が一致するが、廃プラスチックは

資源として認められるか。「総合判断説」、物の性状、排出の状況、通常の取扱いの形態、取引価値の有無、占有の意思。

### 廃棄物か有価物か

・法律では「不要物」が廃棄物であり、「不要物」であるかどうかは、利用価値があるか、取引価値があるかという、人間の社会及び経済から判断される概念に依存する。

・そのため、対象となるものを見ただけでは、廃棄物か有価物かは判断できない。判断する際は「物の性状」、「排出の状況」、「通常の取扱い形態」、「取引価値の有無」、「占有者の意思」を総合的に勘案して判断する。

### 廃棄物処理法の要点 (目的)

・廃棄物の発生抑制、廃棄物

の適正処理(分別、保管、収集、運搬、処分、再生等)生活環境の清潔保全と公衆衛生の向上を図る。



▲県の出前講座による信濃町議会との研修会

今後、廃棄物処理法の趣旨を尊重し、今回の研修を議会活動に反映して参ります。

# 新しい町づくりへ 私の提案

第33回

日本は出生率が低くなっていて、反対に高齢者が長生きし長寿国となっています。高齢者が長生きしていることは良いと思います。しかし、それに伴い介護が必要になり、介護をする人（ヘルパー）が足りなくなっているという背景があります。

飯綱町は他の地域と比較して介護サービスが充実していると聞きます。実際に親が利用させていただいている時は、精神的にも大変な介護から一瞬でも解放され、有意義な一時を過ごすことができていると、大変ありがたく感じています。団塊の世代が後期高齢者となる令和7年以降も「地域包括ケアシステム」を本格化させ、介護を必要とする側も、介護する側も、生きがいを持ち、支えながら、自分らしく活躍できる飯綱町であってほしいと思います。

## 介護が充実している飯綱町



三ツ井 善文さん  
(倉井)

一昨年飯綱町に越してきて、ようやく環境に慣れてきました。自然が豊かで美味しい空気の中で暮らす生活にとっても満足しています。

飯綱町には、広い土地と果汁たっぷりのリンゴがあります。最近若者の農業離れが目立ち、農家さんの高齢化が進んでいます。改善点として、若者が農業を実際に行い、就職できる事業の立ち上げが行われると良いと思います。また、若者特有のアイデアや、SNSでの発信、ITを用いた農業の活性化などにより農業と飯綱町の発展につながるのではないかと考えます。

リンゴを代表とした農作物と飯綱町の魅力をたくさんの人に知ってもらえるような取組に期待しています。

## 農産物と飯綱町の魅力を



白鳥 陽菜乃さん  
(平出)

コロナも5類に移行し「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」に転換しつつあるのかなと思います。

町内でも各行事が再開されましたが、コロナ禍では各行事が自粛され、数年ぶりの開催に運営者の方には大変ご尽力されたと思います。

コロナ前からの問題ですが、人口減少、少子高齢化により、役員や協力者の担い手がなく、以前と同じやり方では開催が難しくなり、行事の中止などの事態もあります。

ですが、地域行事は人と人との出会い・繋がり場になり得ます。

まだコロナが終息していませんが、地域の行事を改めつつ、継続可能な新たな形で開催していくことが、地域活性と町づくりに繋がると思います。行政には、こうした各地域行事への新たなサポートを考えていただきたい。

## アフターコロナの地域行事の改善・再開



外山 信忠さん  
(芋川)

# 議会ってなあに

飯綱町議会基本条例は22条からなっています。第19条に議会運営の最高規範と明文化し、飯綱町議会は活動しています。

## 飯綱町議会基本条例 (抜粋)

飯綱町議会は、町民の負託に応え、二元代表制の一方の担い手として、町民全体の福祉の向上を実現する使命を負っている。

政府が進める地域主権の前進により、自治体の自主的な決定権と責任の範囲が拡大している。議会は、その持てる権能を十分に駆使して、町行政を持続的に発展させ、地域における民主主義と住民自治の前進にその本来の役割を果たさなければならぬ。そのためにも、あらゆる機会における自由かつたつな議論こそ議会の第一の使命である。

飯綱町議会は、これまで議会改革に積極的に取り組み、その実践の成果を踏まえ、町民と共に築く町を目指して、この条例を指針に議会活動を広く展開し、町民に信頼され存在感のある議会を築くため、ここに「飯綱町議会基本条例」を制定する。

第6条 議会は、町民と議会との交流を深め、連携を強めるために、多様な形態の「町民と議会との懇談会(議会報告会)」を開催し、広く町民の意見を聴取し、議会活動に反映させる。

第7条 議会は、政策提言活動

に積極的に取り組む。その際、町民目線での政策研究の一環として「政策サポーター制度」を創設することができる。

第9条 議会は、災害等が発生したときは、飯綱町議会災害対策本部を設置するものとする。

第20条 議会は、議会改革の推進を意図的に努力する。この条例の目的が果たされているか議会運営委員会及び議会全議員協議会において適宜、検討・検証する。

2 議会は、検証の結果、制度の改善が必要と判断した場合は、適切な措置を速やかに講じる。

3 議会は、この条例を改正する場合には、本会議において改正の理由等を説明する。

4 議会は、議会改革を系統的に推進するために、全国の先進議会への視察、交流等を積極的に取り組む。

5 議会は、議会改革推進のために相談役を置くことができる。

## 73号表紙説明

農家の1月は、寝正月というイメージがありますが、りんごの作業は、寒中から始まります。剪定作業は、その1年の出来具合に影響く大事なもの。ただ枝を落とせば良い訳ではなく、3年先を見据えて伸ばすべき枝は残します。



りんご畑で見つけた賑やかな通り道

## 議会だよりモニター 生の声 34

誰もが暮らしやすい町



宮澤 千秋さん (福井団地)

飯綱町に住んで30年程になりますが、正直なところ議会を身近に感じることはありませんでした。今回、モニターの機会をいただき

自分の暮らししている町の課題や問題を知ることができました。「誰かが解決してくれるはず」という考えではなく町民みんなで向き合うことが必要なのだと改めて思いました。

30年間の間に赤ちゃんだった子どもは成人し、今は高齢の親と同居して手助けしています。飯綱町の子育て支援と高齢者支援は手厚いと感じています。

社会環境が大きく変化していく中、どの世代でも暮らしやすい町とはどうあるべきなのか一人ひとりが考えてみる時ではないでしょうか。

## 3月定例会予定

3月1日～3月22日 (22日間)  
一般質問  
3月6日 (水)・3月7日 (木)  
常任委員会  
3月8日 (金)・3月11日 (月)

## 編集後記

冬至 12月22日ごろ。太陽が冬至点を通過するときで、北半球では夜が最も長く、昼が最も短くなる。ハマス「ガザ」・イスラエルの軍事衝突、長い夜「戦い」が続いている。いつ夜が明けるのでしょうか。(文)

## 編集委員

弘	信雄	寿一	忠義	文廣	賀雄	まゆみ
青山	石川	中井	三ツ井	小林	渡邊	伊藤
人長	委員長	委員長	委員長	委員長		
行員	委員	委員	委員	委員		
発委	副委	副委	副委	副委		